

地域にはばたく市民パワー!

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2012年 2月号 (第47号)

発行責任者 加曾利 厚雄



雪明かり
 新聞を待つ
 うす眠り

飛龍

雪の里山 24.1.24 編集部撮影

《3月度講演会予告》

演題：「どうして今頃男女平等？」

事業部長 若山 昭

3月の講演会は、ところざわ倶楽部初めての女性講師による講演です。テーマは「男女共同参画」。

「男女平等など既に実現しているじゃないの」とお思いのあなた、「家じゃお母ちゃんの方が強いんだよ」とお嘆きのあなた、はたまた、「これが男女平等というものなのかしら？」と疑問をお持ちのそこの女性。「日本ってどうなっちゃうの？」と日々悩まれている方々、一度は聴いておく価値あります。とっても大事な示唆を与えてくれることでしょう。

というわけで、講師のご紹介をいたします。

講師：皆川満寿美先生のプロフィール

- ・ 東京大学特任研究員・大学非常勤講師（早稲田大学人間科学部において「ジェンダー論」を担当）。
- ・ 専門は、社会学、ジェンダー研究。
- ・ 近著として『男女共同参画政策』は今どこにいるのか（『女性学』vol.16、2008年）、「日本の災害・復興政策と男女共同参画／ジェンダー平等」（『埼玉自治研』No.36、2011年）。
- ・ 大沢真理『いまこそ考えたい 生活保障のしくみ』（岩波ブックレット、2010年）にコラム執筆。
- ・ 2011年3月の東日本大震災後は、国の復興政策に「男女共同参画の視点」を入れるために尽力。
- ・ 埼玉県主催の政策提言講座にアドバイザーとして参画。
- ・ 19期所沢市民大学の「男女共同参画」講座を担当。

ところざわ倶楽部講座企画第2弾 講演会

講師 皆川満寿美先生

2012年3月23日（金曜日） 午後2時～午後4時
中央公民館 ホール

どうして今頃男女平等？

日本社会の持続可能性と男女共同参画

新春事業「サークル説明会・講演会」開催！

1 月 28 日（土）、新所沢コミュニティセンターにおいて、ひの社会教育センター館長中能孝則氏による「安心して年をとり、安心して老いられる国 デンマーク」というテーマでところざわ倶楽部主催による講演会が開催され、約 100 名の会員、18 期修了者が参加しました。中能氏は、「高負担・高福祉」といわれるデンマークの社会福祉の実状を、冗談を交えて熱く語られ、参加者に感銘を与えました。

講演に先立ち、18 期生を主対象としてサークル説明会が行われました。

《サークル説明》

まず、若山昭事業部長による、ところざわ倶楽部とサークル活動との関係及び既存サークルの活動の現状などについての全般的な説明が行われた。続いて、新規の会員を勧誘するために特に説明時間を与えられた地球環境に学ぶサークル・塚本二郎氏、所沢の自然と

広報部長 池田新八郎

農業サークル・高橋起彦氏、北欧の会・樋口俊夫氏によるサークル紹介と勧誘が行われ、最後に、18 期生が新しく立ち上げた「地域の祭り研究会」が紹介された。

なお、「地域の祭り研究会」については、次ページの記事を参照されたい。

《講演》

北欧デンマークに学ぶ福祉社会

北欧の会 樋口俊夫

20 年間にわたり視察旅行を続けてきた、ひの社会教育センター中能孝則氏に、デンマーク福祉社会の実情や考え方、民主主義の成熟の違いなど具体的な事例をとりあげて語っていただいた。

福祉というとデンマークではすべての国民が安心して生活出来ることを意味する。

デンマークの高齢者福祉は、人としての尊厳を守ることを理念とし、①環境の継続性 ②自己資源の活用 ③自己決定 を大切な考え方として掲げている。高齢者が出来ることはじっと見守り、出来ないことだけ援助サポートする。

一例として示された様々な補助器具を使う介護の現



場を見て、人がいかに大切にされているかを実感し感服した。日本と異なり延命治療はほとんどしていないが、平均寿命は男 77.1 歳、女 81.2 歳だ。

デンマークは国民の国に対する信頼が厚く、政治に対する関心が非常に高い。昨年、国勢選挙で投票率は 87.7%。所得税は平均 50%（最高 70%）消費税 25%であるが、国民からの不満はほとんどない。払える人が払うから生活ができていると考え、平等観が強い。

デンマークの反原発は 3 人の勉強会から始まり、ついには首相を動かした。少数意見が政治を動かすことも少なくない。まちづくりで 1 本の木を切るためにも議論を重ね、そのための時間を惜しまない。多数決でなく話し合いによって問題を解決することが多い。

平成 24 年 1 月理事会報告

総務部長 菅沼庸雄

ところざわ倶楽部第 5 期の活動方針の中の一項目に「開かれた理事会を目指す」とあり、会員が倶楽部の事業計画策定に参加でき、具体的には理事会にも参加できるとしています。その一環として毎月開催する理事会で話し合われた主要事項を「広場」に掲載します。

1 月理事会は、11 日（月）10 時から新所沢東公民館で、全 22 名理事中 17 名が参加して開催されました。

冒頭、加曾利会長から倶楽部の体制、サークル活動の強化について決意が述べられました。

若山事業部長からは、1 月末の講演会・サークル紹

介及び 3 月講演会の準備状況の説明がありました。

池田広報部長からは、「広場」新年号の意欲的な企画紹介、続く 2 月号の企画案の説明がありました。

「広場」は新年号から 8 頁構成に拡大され、掲載記事も幅広くより充実させます。「広場」はその名の通り、会員の交流の場であり、是非皆様からの投稿記事をお待ちしています。また、倶楽部のホームページの刷新 PJ の進行状況の報告があり、会員のみならず、市民を意識したタイムリーかつ豊かな情報交流を目指します。

総務部菅沼からは、前総会以降の倶楽部への新規参加及び退会などの会員動向の説明がありました。

市民大学 18 期生を中心とする新サークル「地域の祭り研究会」の発足が紹介されました。

ところざわ倶楽部 “ホームページ” 装いも新たに！

広報部 HP 担当理事 岡田俊吾

ところざわ倶楽部”も発足から5期目を迎えました
が、広報部では新年度を期に倶楽部のホームページ
(HP)を刷新すべく、鋭意準備を進めております。

新HPでは、鮮度の高い情報を掲載し、画面のレイ
アウトに工夫を加え、今まで以上に見る方々の興味と
関心を引くものにしたいと考えます。

私達は、学校を卒業して以来久々に、所沢市民大学
で、新鮮な思いで講義を聞くという「学びの場」に巡
り会いました。ここでは、多様な社会経験をもつ人々
と濃密なコミュニケーションを持ち、感動し、いつの
間にか新しい自分の世界を発見しておりました。その
市民大学を修了した今、ある人は、次の新しい「自分
の居場所」を探し始めているのではないのでしょうか。

ここに、ところざわ倶楽部各サークルの活発な活動
状況を詳しくお伝えすることで、サークル間の連携を

さらに密にして会員間の絆を強化することに加え、少
しでも多くの方が当倶楽部へ参加することを促して会
員数を増やし、ひいては私たちの活動の輪が地域に広
まる、そんなツールとして、このHPがお役に立てる
ことを願います。

一方、偶然に私たちのページにアクセスされた会員
以外の方々に、私たちの生涯学習への取り組みと、都
心に接して便利で、緑に包まれた素晴らしい所沢の“ま
ち”の魅力をお伝えすることも、HPの役割の一つと
考えます。

そのため、HPはできるだけ高い頻度で更新したい
と思います。会員の皆様には、新鮮で詳細なサークル
活動の状況、個人的な生き方・考え方・熱い思い、等
の寄稿や、所沢にかかわる写真作品の積極的な投稿を
お願いいたします。

サークル「地域の祭り研究会」の紹介

地域の祭り研究会代表理事 井上昭夫

「地域の祭り研究会」は市民大学第18期の受講生が
中心となって立ち上げたサークルです。

第18期カリキュラムの自由企画で、4G+有志の20
余名がバスを利用して”小鹿野歌舞伎芸能祭”の観劇・



小旅行を実施し、
参加者一同は伝統芸能の素晴らしさに感動を覚
えました。好評に答え、翌年は第18期生を中
心に広く参加者

を募集したところ、大型バス満席となる47名の方が参
加し、地域の熱気と伝統芸能の奥深さを堪能しました。
行き帰りのバス車中での懇親も含め、その場で、”サ
ークル結成”の話となり自然発生的に立ち上がったサ
ークルです。

”皆さん、祭囃子が聞こえてくると、昔の思い出が蘇
り、気持ちが高揚してきませんか？”

我々の少年・少女時代、祭りは”娯楽の原点”でし
た。全国各地で脈々と受け継がれてきた祭りは、土地
と土地を結びつけ、人と人の心をつないできました。
それが”絆”となり、強く大きな力となって地域社会
を支えています。地域の祭りを守るために懸命に努力
している人々の姿や、地域の伝統芸能を守り続ける
人々の姿があります。そこでは、自分たちの足元を見
直し、地域の活性化を図る人々の努力を垣間見ること
ができます。

”地域の祭りを訪れ、文化と伝統芸能(歌舞伎・神楽・
能・狂言等)に触れ合うサークルです。”



支え！ 学び！ 遊ぶ！ サークル活動レポート

《葵の会》

古典講座「平家物語」を2月から開始！

「平家物語」を共に学びませんか！

池田新八郎

葵の会では2月より約10回にわたり、古典講座「平家物語」を開催します。一昨年は「万葉集」、昨年は「源氏物語」と著名な古典を取り上げ学習、とっつきにくい古文にも少しずつ馴染んできました。今年はNHKの大河ドラマ「平清盛」が放映され、注目されていますが、TVドラマも念頭に置きつつ、日本人の原点ともいえる「平家物語」を共に学んでみませんか？気楽にお申込み下さい。

「古典講座:平家物語」

- ・第1回 2月9日(木) 毎月第2木曜日開催
中央公民館6号学習室(午後1時30分～4時)
- ・講師:小川達雄先生(元高校教師・
古典研究家、宮沢賢治研究家)
- ・受講料:若干
- ・資料は毎回小川先生より配布します。
- ・連絡先:池田(04-2940-0711)



平家物語に表現された

“極限的状况における人間の姿” をたどる

《古典講座「平家物語」開始に向けて》

小川達雄

この度、2月から「葵の会」で、平家物語の講座を担当することになりました。

平家物語と言えば、すぐに琵琶法師の弾く「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響あり」—この切々たる哀調を思い浮かべるのですが、この物語の中には実にさまざまな、たくさん人間悲劇が浮き沈みしています。



「沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす」

といった感慨がまだ残っているうちに、物語の舞台は宮廷に移って、「殿上閤討」のくだりでは、清盛の父、忠盛の機知と勇氣、その郎党の忠義一途なようすが語られます。ここでは、平家とか源氏の枠から離れて聞

き手はもっとありのままな、危機に際会した人間の思い切った行動に拍手を送ったのではないのでしょうか。

「那須与一」のくだりにしても、扇を“ひいひいふつ”と射切った後

には、「沖には平家、ふなばたを叩いて感じたり、陸には源氏、ゑびら(矢の入れ物)を叩いて



平家物語絵巻

てどよめきけり」というように、すぐれた武勇には敵味方ともに賞賛を惜しみませんでした。

このように、名高い多くの物語の中から、キラリと光る、極限的な状況での人間の姿をお伝えしたいと考えています。

いくつかの段は、平家琵琶のCDを準備しますので、どうぞおいで下さい。

【葵の会】本年度の活動

「潤いある人生を」をモットーに、古典、古典芸能に触れつつ、より親密な会員の親睦を図っていきたくと考えています。

毎月1回の定例会(平家物語講義)の他、7回の親睦行事を予定しています。

日暮里道灌山から谷中散策(2月)、浅草観音、アメ横散策(3月)、神田明神の神田祭見学(5月)、国立演芸場寄席(7月)、秩父・浦山大日堂のささら獅子舞見学(10月)、都電荒川線の小さな旅(11月)、高輪泉岳寺・浜離宮・お台場散策(12月)等。

親しい仲間と気楽に、楽しく生きていきたいですね。

《 公園を楽しむ会 》

古都鎌倉初詣

渡部 正俊

1月26日(木) 少し遅めの初詣に行ってきました。福祉バス1台、参加者は29名です。

今回の行き先は ①鶴岡八幡宮と牡丹園 ②長谷寺 ③高德院の大仏です。

8時に所沢を出発。途中2回の休憩を取り11時には最初の目的地に到着しました。

日本経済が停滞しているせいか? 高速道路も少し混んだ程度でした。私の晴れ率は50%程度ですが、日頃のおこないが良い人が多数を占めていたせいか快晴でした。道中、スカイツリー、富士山、東京湾岸のビル群を見ることができ、少し得した気分になりました。

八幡宮の本宮への石段横には一昨年の強風で根元から倒れた大銀杏が元の位置のすぐ横に移されていました。元の所からは新芽も出ているそうなので、これが大木に育つまではこのままの姿でいて欲しいものです。最近では初詣などでお願い事をする時は一つだけにしてあります。沢山お願いすると、何処で何をお願いしたのか忘れるからです。

隣接する牡丹園では、様々な寒牡丹が満開でしたが、淡いピンク色の花に惹かれました。

昼食は約1時間。幹事の加曾利さんが作成した小町通りと若宮大路にあるお薦めのお店のランチメニューと地図を頼りに、各自好き勝手に行動しました。私のお昼は天井(穴子入り)



みつこ



と熱燗。小町通りは観光客相手の小さなお店がたくさんあり、楽しいところです。私は豆屋さんで試食をし、好みの豆を購入しました。

次に訪れた長谷寺では十一面観世音菩薩像の大きさに圧倒されました。初めてお会いしたのか、修学旅行で一度は見たけど忘れてしまったのか定かでは無いところに歳月を感じました。この寺の境内から由比ヶ浜が一望出来ます。遠くに三浦半島も見えます。景色を見ながら、東日本大震災クラスの地震が起きたらこの高台まで津波が来るのかなと思った次第です。

行程の最後は大仏様。さすがに以前ここに来たことは覚えていたので少し安心しました。大仏様の胎内を拝観することが出来ました。急な階段を少し上り西日のあたっている側に触ると人肌程度のぬくもりが感じられます。中から見るとずいぶん小さく感じたのは意外でした。



みつこ

帰途のバスでは俳句の披露もあり、午後5時頃には所沢に到着、楽しい1日でした。

気がかりなのは、朝出発時に間違っで私たちのバスに座っていた方、無事に目的地にたどり着けたかどうかです。



今年の計画 (毎月第4木曜日に実施予定)

今年の計画は下記のとおりです。各行事の担当も決まりました。2月、3月の行事はパンフレットも出来上がり準備万端です。

- 1月：古都鎌倉初詣
- 2月：大宮の鉄道博物館と県立美術館
- 3月：六義園ととげぬき地蔵
- 4月：航空公園からカルチャーパークへ
- 5月：武蔵野の水と緑と歴史を楽しもう
- 6月：葛西臨海公園

4月以降の詳細計画はこれからです。新会員も数名加入されましたので、出来る範囲で協力戴き、楽しく進めたいと思っています。また今年も、航空公園発見ツアーへ参加したいと思っています。

- 7月：等々力溪谷と不動の滝
- 8月：定例会、出前講座、暑気払い
- 9月：迎賓館とその周辺
- 10月：世田谷沿線ハイキング
- 11月：高尾山
- 12月：定例会、忘年会 (第3木曜日に実施)

特別会員 リレー 寄稿 (第1回)

「6月の森」

埼玉大学教授 安藤聡彦

勤務している大学にF君という若い画家がいる。

Yさんというテンペラ画で知られるお師匠さんの薫陶を受け、まるで写真を見るように細密でリアルな洋画を描く青年(大学院生)である。

このF君、2-3年前は「美大の先生に絵を見せたら、平凡だとボロボロに言われました」なんて言っていたのだが、一昨年の夏、全国的に知られる大きな公募展で優勝し、にわかに注目される存在となった。

同じ年の暮れには東京駅近くの画廊で個展をやるという。20代半ばの若さで個展なんてスゴイな、と思いつつ、早速夫婦で連れ立って会場を訪れてみた。

以前はもっぱら静物や人物を描いていたF君だが、ここに来て陽光を受けて煌めく水面や林の姿を映した池など、水のきわめて繊細な動きや輝きを描き出していて、ギャラリー内はあたかもあちらこちらから光が放たれているかのような華やぎに満ちていた。

そんなキャンバスたちのなかに描き込まれた自然の姿があまりにも魅力的だったので、ぼくは傍らにたずんでいたF君に思わずこう声をかけてみた。

「いつか気が向いたら狭山丘陵の絵を描いてみてくれない。」

「はい、分かりました。」

彼は、驚くほどあっさりそう答え、静かに頷いた。

それから1年が過ぎた昨年暮れ、同じ画廊で2度目の個展が開かれることになった。招待状には、「狭山丘陵の絵も描いてみましたので、よろしければおいでください」という添え書きがあった。信じられぬような気持ちで東京駅を降り、同じ画廊の扉を開けてみた。めざす絵は、その一番奥の左側にひっそりとかけられていた。いまや彼のスタイルとして確立しつつあるリアリスティックな花々や水面の絵に比べると、その絵はきわめて控えめでおとなしい。

「狭山丘陵の森の湿った空気の様子を描きたかったんですよ」と彼。



「6月の森」と題されたその絵は、少し離れてみると、まさに初夏の狭山丘陵の木立のなかに吸い込まれていくような感覚に襲われる絵であった。

僕は彼に感謝の言葉を伝え、その絵の購入を申し出たのだった。

いま、「6月の森」は我が家のリビング・ルームで、日々我々夫婦に憩いの時をもたらしてくれている。絵はあの画廊のときと同じように静かにそこにかかっているのだが、まるでそこから狭山丘陵が始まっているような気にさせられるから不思議だ。

かつてパリ郊外の寒村バルビゾンに有意の画家たちが集ったように、この狭山丘陵も多くの若き芸術家たちによって愛され、描かれるようになるといいのだけれど——「6月の森」を見ながら、毎日そんなことを考えている。そのときまで、ぜったいこの森を守り続けなければと思いつつ。

安藤聡彦先生のプロフィール

神奈川県藤沢市出身
一橋大学社会学部卒業後、
同大学院社会学研究科博士課程終了。英国留学後、
一橋大学助手などを経て、
埼玉大学教育学部助教授
から教授。所沢在住。



大学の恩師が公害問題に取り組んでいるのを見て、環境問題を教育に取り入れることの大切さを実感し現職に進んだ。

大学で教育すること以外に、「公益財団法人トロのふるさと基金理事長」を兼任しており、教育と実践の両面で活躍しています。

「これからの夢は、所沢のすばらしい環境を維持・改善し、これが破壊されないよう将来にわたり監視したい」と語っておられました。趣味は野山の散策、音楽・映画の鑑賞、酒を飲みながら人と話をする事。

所沢市民大学においては、16期、18期で「都市の環境」講座をご担当頂きました。

【お詫び】新年号「ところざわ倶楽部特別会員紹介欄」で、先生方の講座歴に記載漏れがありました。藤田明先生、近藤瑞男先生、太田俊二先生、中健二先生は15期、門内政広先生は15・17期、記載が漏れていました。ご迷惑おかけしましたこと深くお詫びいたします。 広報部長 池田新八郎

サークル活動計画



■ 2月・3月のサークル活動！興味ある活動に参加してみませんか！

<p>アジア研究会 2月15日(水) 13:30～16:30 中央公民館 8、9号室 定例会：『ブータン王国のビデオ鑑賞と講義』 3月定例会 第3水曜日開催を予定</p>	<p>地域の自然 2月18日(土) 落葉掻き 9時～早大B地区実験地 2月25日(土) 補助金報告書の検討 9時～早大 3月10日(土) 畑の掘り返し他 9時～早大 3月24日(土) H24年度役員選出他 9時～早大</p>
<p>傍聴席 2月13日(月) 定例会、15:00～新所沢コミ・セン別館 ①24年度総会：年間活動計画等 ②意見交換：市議会の政策討論会「地域経済の活性化と所沢ブランドの創造」を聴いて</p>	<p>歴史散策クラブ 2月18日(土) 民話の寺社(日月神社・寺明院) 訪問 2月25日(土) 全体会議 場所：新所沢別館13:00 3月10日(土) 新河岸川沿水子貝塚・難皮田城址訪問 集合&時間：所沢駅池袋行ホーム最後尾 08:45</p>
<p>楽悠クラブ 2月21日(火) 歌劇「マクベス」(ヴェルディ)DVD鑑賞 3月13日(火) 歌劇「カルメン」(ビゼー)DVD鑑賞 場所：中央公民館 時間：13:30～ 3月31日(土) オケストラの日コンサート(場)東京文化会館</p>	<p>ドラマティック・カンパニー シェクスピア「十二夜」を読み進めます。 2月18日(土)、3月3日(土) 時間：10:00～12:00 場所：新所沢コミュニティ・センター別館</p>
<p>地球環境に学ぶ 2月21日(火) 15:00～新所沢コミ・セン別館5号室 定例会 ①各自勉強の発表②年計画の具体策の発表と協議 ※傍聴される方 ー 歓迎します。 3月21日(水) 定例会の予定(別館での最終回)</p>	<p>葵の会 2月9日(木) 13:30～16:00 中央公民館6号会議室 定例会：古典講座「平家物語」第1回 講師：小川達雄先生 ※興味のある方ご参加ください！</p>
<p>地域の自然を考える会 2月18日(土) 野鳥の観察会(早稲田大) 2月28日(火) 定例会 新所沢公民館</p>	<p>野老澤の歴史を楽しむ会 2月16日(木) 嵐山史跡の博物館 “「鎌倉街道」をゆく”を観覧</p>
<p>公園を楽しむ会 2月23日(木) 「鉄道博物館と県立歴史と民族の博物館」 08:40 所沢駅池袋線ホーム集合 3月22日(木) 「六義園しだれ桜と・とげぬき地藏」 09:30 所沢駅東口改札口集合</p>	<p>北欧の会 2月25日(土) 第28回例会 13:20～ 「北欧に学ぶ」場所 新所沢コミセン別館 3月24日(土) 第29回例会 13:20～ 場所 新所沢コミセン別館</p>
<p>所沢の自然と農業 2月9日(木) 09:00～長谷川農園落ち葉掃き 2月11日(土) 09:00～横山農園落ち葉掃き 2月14日(火) 13:30～月例会、新所沢コミセン別館 2月18日(土) 09:00～伊藤農園落ち葉掃き 2月24日(金) 奥多摩日の出山～吉野梅郷トレッキング</p>	<p>音楽連・市民大学派 2月20日(月) (中央公民館 13:00-15:00) 例会 3月5日(月) (中央公民館 13:00-15:00) 例会 3月19日(月) (中央公民館 13:00-15:00) 例会 4月2日(月) (中央公民館 13:00-15:00) 例会</p>

料理コーナー



<大根の皮の塩昆布和え>

新井光子

これを作ると奥様もおやっ!と思います。もし冷たい目でフンと一瞥されても決して文句を言わない。黙って悠然とこれをつまみにして飲む。...カッコイイ!ちなみに酒の肴はご自分で作るとなおいしい。...ワカツテル!

【材料】① 大根の皮:適量 ② 塩昆布:適量 ③ 練りわさび:少々

【作り方】

- ① 大根の皮を千切りにする。
② 材料を全部混ぜ合わせる。



<ゆで豚とネギの辛子和え> 2人分

後藤律子

新聞に載っていたレシピですが、作ってみましたら美味しかったので紹介します。



【材料】① 豚もも肉しゃぶしゃぶ用:100g ② 長ネギ:3分の1本 ③ ショウガの薄切り:2枚 ④ 水菜:50g ⑤ 長ネギの青い部分:少量

【調味料】① 醤油、酢:各小さじ2 ② 練り辛子:小さじ1

【作り方】

- ① 水菜は長さ4cmに切り、ネギは長さ4cmの千切りにし水に放ち、しばらくしたら水気をきる。
② 鍋に湯を沸かし、ネギの青い部分とショウガを入れる。沸騰してきたら豚肉を1枚ずつ広げながら入れる。肉の色が変わったら引き揚げて、湯を切る。
③ 茹でた肉の長さを半分に切ってボウルに入れ、熱いうちに醤油、酢各小さじ2で和える。
④ 練辛子小さじ1を加えて混ぜ、水菜とネギを加えてさっくりと和える。

乾きたる草をふちどり霜の花
初詣平安のみを祈りけり
書初や今年の抱負口にせり
社への一礎ことの淑気かな
門付の三河万歳老いにけり
心の荷言葉に乗せて齎打つ
門松のなき家多し今年かな
あらたまの出囃子はづむ舞台そで
錦鯉水を揺らして春を待つ
去年今年時の速さは年ごとに

粕谷昇 岡本博 井出昇 飯泉陽子 荒幡千鶴子 平栗彰子 橋本佑子 中村直子 利根川啓一 鈴木征子

初風や地球のまるく見ゆる丘
白足袋や正座の尻を支へたる
巖冬や石に彫られし克己心
寒ざくら見付けて会話弾みけり
蕉翁の碑ある古刹や梅探る
悠久の天地に輝く冬満月
日の当る蟬梅園に立ち話
初苗あたり一面朱の投網
野畑に齎を探す六日かな

田中溢子 高光泉 高梨千代 白神恵子 佐藤八郎 佐藤英子 小林典子 小林貞夫 河瀬俊彦

むさし野俳句会(二十四年一月) 作品抄

編集後記

▼ 1月28日のひの社会教育センター、中能孝則館長の講演「安心して年を取り、安心して老いられる国・デンマーク」は、高齢化を迎えている我々には示唆に富んだ話であった。

何よりもデンマークには「寝たきり老人」が皆無だという。ケア付き住宅が普及し、本人が出来ることは手伝わす自立を支援しているそうで、そのための補助器具が5,000種類も用意されているという。延命治療は行わないため(日本人と考え方が違う)、平均寿命は日本より低く男性77.1歳、女性は81.2歳だそうです。自立し、「自分たちが高い税金(平均49.5%)を収めているのは、老後に必要なお金を国に貯金している」と考えるデンマーク人、さすが幸福度世界一、年金、保険、何より政治に不安を持つ日本とは大違いだ。

▼ 同日行われたサークル説明会後の集計で、18期のところざわ倶楽部入会が43名ほどになったそうです。サークルの設立は「地域の祭り研究会」1サークルのみですが、多くの修了生が加入しました。18期への説明不足、ところざわ倶楽部への理解度が危惧されていましたが、菅沼総務部長の努力(チラシ、資料の配布等)があり、徐々に理解されてきたと思われます。倶楽部の新しい力になって頂けたらと願っています。

▼ 編集部(広報)はホームページの制作で、この1月、2月はかなり混乱状態です。「広場」だけでも毎月の月末、月始めは泡を食っていますが、慣れないホームページの立ち上げで苦心しています。岡田新理事(HP担当)が各サークルから頂いたデータをもとに、日夜パソコンと睨めっこして製作に奮闘しています。3月10日ごろの開設を目指しています。どんなふうにとまとまるか、乞う、ご期待。(池田 記)